

◆「経済倶楽部講演録」

バックナンバーのご案内

＊6月号 高原明生「建国70周年を迎える中国の内憂外患」 田中秀征「平成を振り返って」 下斗米伸夫「日ロ関係・歴史と現代」 熊野英生「生産性上昇をどう実現するか？」

＊5月号 山内昌之「日本1.0とパクス・トクガワナ」 木村幹「朝鮮半島をどう見るか」 浜矩子「今、気になる『あれらの言葉』」 経済的風景画の危うさをどう読み解くか」 歳川隆雄「衆参同時選の可能性大」

＊4月号 庄司克宏「ブレグジット・パラドックス―欧州統合のゆくえ」 西原春夫・坂元茂樹・萬歳寛之・玉田大「東アジアにおける「法の支配」の構築に向けて」 八代尚宏「安倍政権の労働市場改革の現状と課題」 白川方明「中央銀行という存在について」

【編集後記】

日米欧の経済は、超金融緩和策によって、何とか景気拡大を実現してきました。しかし、長期に及んだ景気拡張期も、そろそろ局面に向かう兆しが見え始めています。最も成長のスピードが速かった米国は、すでに緩和策を次々に解除して金融引き締めに移っています。景気下降が明らかになれば、再び金融緩和に向かう準備は整っていると考えるでしょう。EUも米国ほどではありませんが日本よりも高い経済成長を背景に出口戦略を模索し始めています。しかし、日本には下降局面に転じた時の手立てがほとんどありません。財政出動は積みあがった政府債務をさらに膨張させて地獄への扉を開くことになりそうです。痛みを回避し続けて選挙民の歓心を買いつけてきた政府のツケはいずれ国民が支払うことになるでしょう。

次号は、白井さゆり氏「グローバル経済の構造変化と見通し」、木本昌秀氏「極端気象・異常気象と地球温暖化」、小峰隆夫氏「平成経済の回顧と令和経済の課題」を掲載予定です。

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2019年7月号)

2019(令和元)年7月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 駒橋 憲一 編集人 柴生田 晴四

発行 東洋経済新報社  
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒 103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <http://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 東港出版印刷

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉